

# 圏域ごとの課題について

資料9－2

|       | 相談支援体制                                      | 緊急時の受け入れ・対応  | 地域生活  | 専門的人材の確保・養成  | 体験の機会の場                            |
|-------|---|--|---|--|------------------------------------|
| 横浜市   |   | ・医療的ケアの必要な重症心身障がい児者の地域生活支援について<br>・精神障がい者にも対応した「緊急」について受け入れやすい仕組みづくり | ・相談支援の推進に受けた体制整備や仕組みづくり<br>・地域生活拠点機能と地域包括ケアシステムの構築        |  | ・精神障がい者にも対応した「体験」について受け入れやすい仕組みづくり |
| 川崎市   | ・計画相談支援の供給量が不足している。                         |  | ・福祉施設からの地域移行に向けた体制づくり                                     | ・相談支援従事者の質の向上が必要   |                                    |
| 相模原市  |   |  | ・支援者間や地域との連携が不十分なことでサービスにつながりにくい<br>・教育分野と福祉分野の連携が不十分     | ・相談支援専門員が不足している。<br>・グループホームや放課後等デイサービスなど、市内で急増している事業所に対する人材育成が不十分なことにより、不適切な支援の懸念がある。 |                                    |
| 横須賀三浦 | ・セルフプラン率がなかなか下がらない。<br>・障害児相談支援利用者が増加傾向にある。 | ・成人後に医療的ケアが必要となった方の居所や利用できる福祉サービスが見つけにくい。                            | ・3市1町が基幹相談支援センターを設置したが、自治体による機能や取り組みに差がある。                | ・相談支援事業所や相談支援従事者が増えない。   |                                    |
| 湘南東部  | ・児童期の相談や精神疾患の方からの相談が増加。                     |  | ・医療などとの多職種連携といった、地域のネットワークづくり<br>・市町村を越えた総合的な支援体制の構築      |  |                                    |
| 湘南西部  | ・医療的ケア児の相談支援体制の整備                           | ・医療的ケアを必要とされる方の緊急時の受け入れ対応  | ・精神障がいにも対応した地域包括ケアシステムの構築推進について                           |  |                                    |
| 県央    | ・委託相談等を含めた相談支援体制の拡充                         |  | ・重層的支援体制事業への取り組み<br>・医療的ケアが必要な方の障がい福祉サービス事業所の不足           | ・人材育成  | ・短期入所先の確保<br>・体験する場の不足             |
| 県西    | ・相談支援事業所の不足                                 | ・医療的ケア児等の支援体制の整備   | ・切れ目のない支援を行うための連携体制やネットワーク構築<br>・障害福祉分野の事業所や、従事者等の社会資源の不足 | ・人材育成  |                                    |